博士前期課程（修士） / 助産看護学領域 / 助産看護学分野
科目コード：280006

助産診断・技術特論演習Ⅰ（概論・妊娠期）

Midwifery diagnosis /technology special exercise Ⅰ (Introduction・Pregnancy period)

担当教員	米田 昌代、亀田 幸枝、濵 耕子、曽山 小織、河合美佳、野沢ゆり乃、 平吹 信弥				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	3	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	60		
Keywords	妊娠期、助産診断、助産過程、健康診査、フィジカルイグザミネーション、ME機器				
学習目的・目標	１ケアの対象となる人々を理解するうえで必要な概念、考え方を説明できる。 ２助産診断の意義と考え方、マタニティサイクル各期における診断・アセスメント視点を説明できる。 ３妊娠期の対象の身体的、心理社会的変化と適応状態を診断し、助産ケアを立案できる。 ４妊娠期にかかわる基礎助産技術、態度を修得できる。 ５ME機器を利用した母児管理の技法について説明できる。				

授業計画・内容

回	内容	授業方法	担当
1-3	ガイダンス 助産診断・技術学の概念、助産診断の定義・意義・範囲・診断類型・過程 助産師が行うケア 対象理解とケア論の考え方、対象の見方、女性の意思決定を支えるしくみ Women-centered care、Family-centered care	講義 講義 講義	米田 ・亀田・濵 亀田 亀田
4	妊娠期の助産診断に必要な知識、診断・アセスメント視点	講義	米田
5-14	妊娠期の助産過程の展開；妊婦健康診査 （ＰＢＬ）	演習	米田・河合・野沢
15-20	妊娠期のフィジカルイグザミネーション 問診、身体計測・骨盤計測（解剖含む） 頭部・頸部胸部、四肢 腹部（視診・触診・聴診・胎児心拍モニタリング等）、生殖器（スメア含む）	講義・演習	米田・河合・野沢
21-26	妊婦健康診査のシミュレーション学習	演習・討議	米田・河合・野沢
27-30	産科ME機器の検査技術と診断 超音波診断装置 胎児心拍モニタリングの判読と対応	講義・演習	米田・河合・野沢 平吹・米田
	定期試験		

教科書	助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ：医学書院 助産師基礎教育テキスト4・7：日本看護協会出版会 助産外来の健診技術 根拠にもとづく診察とセルフケア指導：医学書院 助産師のためのフィジカルイグザミネーション：医学書院 新版 助産師業務要覧 第3版 [Ⅱ 実践編]：日本看護協会出版会 産科診療ガイドライン－産科編2017－：日本産婦人科学会 病気がみえる vol.10 産科 改定第3版：MEDIC MEDICA
参考図書等	助産学講座 基礎助産学[1] 助産学概論：医学書院 最新産科学 正常編：文光堂 最新産科学 異常編：文光堂 今日の助産：南江堂 助産師と研修医のための産科超音波検査:診断と治療社 臨床助産テキスト 妊娠：メディカ出版 図説CTGテキスト–助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®レベルIII認証CTG必須研修対応テキスト：メヂカルビュー社
評価指標	定期試験60%、演習・討議40%
関連科目	助産学概論、助産診断・技術特論演習Ⅱ（分娩期）、助産診断・技術特論演習Ⅲ（産褥期・新生児期・乳幼児期）、助産診断・技術特論演習Ⅳ（ハイリスク妊産婦） 助産実践実習Ⅰ（正常・継続）、助産実践実習Ⅱ（ハイリスク・継続）

教員から学生へのメッセージ	ＰＢＬが始まるまでに妊娠期の基礎的知識を学習しておきましょう。 臨床でよく遭遇する場面をイメージしながら、必要な知識、技術、態度を身につけていきましょう。